

語られる風景

西久松吉雄展

2020年11月3日|火|-15日|日|
12:00-19:00(最終日は18:00まで)|9日(月)休廊



《海鏡》2020年 | 60.6×91.0 cm | 石州檼紙・岩絵具

ギャラリー恵風 1F+2F

〒606-8392 京都市左京区丸太町通東大路東入ル 南側

語られる風景

湖西・湖東地域の西教寺阿弥陀来迎二十五菩薩石仏、鴨川四十八体仏、石塔寺三重塔、太郎坊宮夫婦岩など、いにしへの石を巡る風景を訪ね歩いた。特に、大上川の溪流は、巨岩と奇岩が積み重なった間を渦巻くように、白い波飛沫をあげながら激流が織りなす様は、まさに大蛇か龍神の姿態の情景が浮かぶ。天然岩絵具の美しい緑青のような川面、澄んだ水と溪谷に響き渡る水の音、曲がりくねった激しい流れが石灰岩質の白い岩肌を削り無数の痕跡が残る。

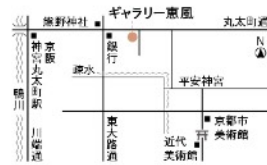
また、日野菜や赤丸蕪などの近江野菜や賀茂茄子、万願寺唐辛子、海老芋、鹿ヶ谷南瓜などの京野菜は、土の性質や地形による自然環境によって育まれた特産品として魅力的な色彩と形と味覚である。かつて地蔵盆にお供えする京野菜や果物、特に神社へのお供物の光景が、今でも印象に残っている。そして、北野天満宮すいき祭りの神輿は、ずいき(里芋の茎)で作られた屋根、唐辛子やピーマン、茄子などの野菜で色彩豊かに飾られた環珞がある神輿の記憶も鮮明である。



《蓮一清行基尊》2020年 | 116.7×72.7 cm | 石州檼紙・岩絵具

ギャラリー恵風

〒606-8392 京都市左京区丸太町通東大路東入ル 南側
Tel: 075-771-1011 | Fax: 075-771-0358
E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp | Uri: http://g-keifu.com
市バス、熊野神社前下車すぐ | 京阪電車、神宮丸太町駅より徒歩5分
京都市美術館より徒歩7分



《供物》2020年 | 50.0×72.7 cm | 石州檼紙・岩絵具

西久松吉雄 | Yoshio Nishihisamatsu

略歴

1952年 京都に生まれる
1976年 京都市立芸術大学美術学部日本画科卒業
1979年 京都市立芸術大学美術専攻科日本画専攻修了
現在 成安造形大学名誉教授
一般社団法人朝両会常務理事

主な受賞歴

1979年 第4回京都日本画美術展新人賞 受賞
1994年 第4回京都新聞日本画賞実人賞 受賞
1995年 第13回山種美術館賞展優秀賞 受賞
2010年 第23回京都美術文化賞 受賞
2015年 第25回秀明文化賞 受賞
2020年 第38回京都府文化賞功労賞 受賞

パブリックコレクション

京都国立近代美術館、京都市美術館、京都府京都文化博物館、
中信美術館、浜田市立石正美術館、山種美術館、今治市三島美術館、
中上佐町立美術館、成安造形大学

これまでの主な展覧会

1986年 「86美術選抜展」(同89-92)京都市美術館/京都
1989年 「次代を担う作家展」京都府立文化芸術会館/京都
1992年 「第26回現代美術選抜展」井原市立田中美術館/岡山 他
(同96秋田県立近代美術館/秋田 他)
1997年 「京都美術工芸展選抜部門」京都府京都文化博物館/京都
「現代京都の日本画—気鋭の15人—展」大丸ミュージアムKYOTO/京都
1999年 「日本画の新世代展'99」大丸ミュージアムTOKYO/東京 他
「現代日本絵画の展望展」東京ステーションギャラリー/東京
2000年 「2000両洋の眼展」日本橋三越本店/東京 他
(同03松坂屋美術館/愛知 他)
2004年 「戦後美術俊美の極めき文化庁賞上優秀美術作品展」
川越市立美術館/埼玉
2010年 「第23回京都美術文化賞記念作品展」京都府京都文化博物館/京都
2012年 「自然学 SHIZENGAKU—来るべき美学のために—」
滋賀県立近代美術館/滋賀
2013年 「こころの京都百選完成記念特別展」京都府京都文化博物館/京都
2014年 「梅原景幸寿記念—梅原猛と25人のアーティスト展」
高島屋日本橋店/東京 他
2015年 「西久松吉雄展 祈りの地・古の風景」浜田市立石正美術館/島根
2018年 「退任記念展西久松吉雄—地のかたち」
成安造形大学【キャンパスが美術館】ギャラリーアートサイト/滋賀
「西久松吉雄・綾・友花展—地のかたち・水めぐみ・土のちから」
中信美術館/京都

出版

2014年 「古の贈り物 日本画家西久松吉雄の世界」サンライズ出版